

各 位

会 社 名 株式会社丸千代山岡家  
 代 表 者 名 代表取締役社長 山岡 正  
 ( J A S D A Q ・ コード 3 3 9 9 )  
 問 合 せ 先 取締役管理本部長 成田 弘之  
 T E L 029-896-5800

平成 27 年 1 月期業績予想との差異及び特別損失発生に関するお知らせ

平成 26 年 3 月 7 日付「平成 27 年 1 月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表いたしました、平成 27 年 1 月期通期(平成 26 年 2 月 1 日～平成 27 年 1 月 31 日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が発生いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 1 月期業績予想との差異  
 通期(平成 26 年 2 月 1 日～平成 27 年 1 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,718	209	250	125	154.07
実績値 (B)	9,007	256	304	114	141.40
増減額 (B) - (A)	289	47	54	△11	—
増減率 (%)	3.3	22.5	21.6	△8.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 1 月期)	8,758	196	235	△88	△108.63

2. 差異発生理由

売上高につきましては、新規に 3 店舗の出店を行い、更に 3 店舗の閉店を行いましたが、レギュラーメニューの追加、期間限定メニューの定期的実施などもあり 9,007 百万円(当初予想比 289 百万円の増加)となりました。

利益につきましては、店舗でのロス管理などによる原価の抑制、ワークスケジュール管理による人件費のコントロールを継続して行っております。電気料金を主因としたエネルギーコストの増加などもありましたが、予想売上高の増加に伴う売上総利益の増加もあり、営業利益は 256 百万円(当初予想比 47 百万円の増加)、経常利益は 304 百万円(当初予想比 54 百万円の増加)となりました。

また、特別損失において、店舗閉鎖損失や減損損失など 66 百万円が発生し、当期純利益は 114 百万円(当初予想比 11 百万円の減少)となりました。

3. 特別損失の発生

店舗閉店に伴う設備の除売却により店舗閉鎖損失を 37 百万円、業績不振店の減損処理を行ったことにより減損損失 19 百万円など合計 66 百万円を計上しております。

※なお、上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上